

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2001-346780(P2001-346780A)

【公開日】平成13年12月18日(2001.12.18)

【出願番号】特願2001-107070(P2001-107070)

【国際特許分類】

A 6 1 B	5/145	(2006.01)
A 6 1 B	10/00	(2006.01)
G 0 1 N	21/17	(2006.01)

【F I】

A 6 1 B	5/14	3 1 0
A 6 1 B	10/00	E
G 0 1 N	21/17	6 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月4日(2008.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の光照射位置から光を生体に照射する光照射手段と、前記生体内を透過した光を複数の検出位置で検出し、光照射位置との関係で決まる複数の計測部位について、検出した光量に対応する電気信号を出力する光検出手段と、前記光検出手段からの電気信号に基づき前記計測部位毎のヘモグロビン濃度を計算する信号処理手段と、前記信号処理手段の計算結果を表示する手段とを備えた生体光計測装置において、麻酔前と麻酔中のヘモグロビン濃度を前記信号処理手段で計算し、この計算結果に基づいて前記麻酔前と麻酔中のヘモグロビン濃度の時間経過を前記表示手段に表示することを特徴とする生体光計測装置。

【請求項2】

複数の光照射位置から光を生体に照射する光照射手段と、前記生体内を透過した光を複数の検出位置で検出し、光照射位置との関係で決まる複数の計測部位について、検出した光量に対応する電気信号を出力する光検出手段と、前記光検出手段からの電気信号に基づき前記計測部位毎のヘモグロビン濃度を計算する信号処理手段と、前記信号処理手段の計算結果を表示する手段とを備えた生体光計測装置において、前記信号処理手段に麻酔効果の指標を示す麻酔深度算出手段を備え、前記麻酔深度算出手段で求めた麻酔深度値を前記表示手段に表示することを特徴とする生体光計測装置。

【請求項3】

複数の光照射位置から光を生体に照射する光照射手段と、前記生体内を透過した光を複数の検出位置で検出し、光照射位置との関係で決まる複数の計測部位について、検出した光量に対応する電気信号を出力する光検出手段と、前記光検出手段からの電気信号に基づき前記計測部位毎のヘモグロビン濃度を計算する信号処理手段と、前記信号処理手段の計算結果を表示する手段とを備えた生体光計測装置において、麻酔前と麻酔中のヘモグロビン濃度を前記信号処理手段で計算し、この計算結果に基づいて前記麻酔前と麻酔中のヘモグロビン濃度の時間経過と前記信号処理手段に設けた麻酔効果の指標を示す麻酔深度算出手段で求めた麻酔深度値とを前記表示手段に同時に表示することを特徴とする生体光計測装置。

【請求項 4】

複数の光照射位置から光を生体に照射する光照射手段と、前記生体内を透過した光を複数の検出位置で検出し、光照射位置との関係で決まる複数の計測部位について、検出した光量に対応する電気信号を出力する光検出手段と、前記光検出手段からの電気信号に基づき前記計測部位毎のヘモグロビン濃度を計算する信号処理手段と、前記信号処理手段の計算結果を表示する手段とを備えた生体光計測装置において、刺激に対応したヘモグロビン濃度変化量を用いて前記信号処理手段で麻酔後の各段階に対応した麻酔深度の指標値を計算する麻酔深度算出手段を備え、前記麻酔深度算出手段で求めた麻酔深度の指標値を前記表示手段に表示することを特徴とする生体光計測装置。